

議案第9号

令和4年度日高市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和4年度日高市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 下水道事業

イ 水洗化済戸数	18,230	戸
ロ 年間有収水量	4,160,000	m ³
ハ 一日平均有収水量	11,397	m ³
ニ 主要な建設改良事業 管渠布設	75	m

(2) 農業集落排水事業

イ 水洗化済戸数	133	戸
ロ 年間有収水量	36,400	m ³
ハ 一日平均有収水量	100	m ³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。なお、廃止事業の施設に係る除却等のため、基金55,627千円を取り崩す。

	収	入		
第1款 下水道事業収益			1,142,751	千円
第1項 営業収益			743,898	千円
第2項 営業外収益			398,853	千円
第2款 農業集落排水事業収益			47,471	千円
第1項 営業収益			6,452	千円
第2項 営業外収益			41,019	千円
合 計			1,190,222	千円
	支	出		
第1款 下水道事業費用			980,549	千円
第1項 営業費用			870,709	千円
第2項 営業外費用			103,222	千円
第3項 特別損失			118	千円
第4項 予備費			6,500	千円
第2款 農業集落排水事業費用			47,471	千円
第1項 営業費用			45,053	千円
第2項 営業外費用			918	千円
第3項 予備費			1,500	千円
合 計			1,028,020	千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額441,713千円は過年度分損益勘定留保資金86,787千円、当年度分損益勘定留保資金275,689千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,169千円及び減債積立金68,068千円で補填するものとする。）。

		収	入	
第1款	下水道事業資本的収入			249,886 千円
第1項	企業債			224,200 千円
第2項	分担金及び負担金			8,200 千円
第3項	他会計補助金			17,460 千円
第4項	基金収入			26 千円
第2款	農業集落排水事業資本的収入			1 千円
第1項	分担金及び負担金			1 千円
	合 計			249,887 千円
		支	出	
第1款	下水道事業資本的支出			685,006 千円
第1項	建設改良費			150,368 千円
第2項	企業債償還金			534,612 千円
第3項	投資			26 千円
第2款	農業集落排水事業資本的支出			6,594 千円
第1項	企業債償還金			6,594 千円
	合 計			691,600 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
日高市水洗便所改造資金融資あっせん規則による損失補償	借入年度から返済年度まで	回収されない元金及び納付すべき利子の合計額

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	127,900千円	普通貸借 又は 証書借入	5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	公的資金についてはその融通条件により、銀行その他の場合はその債権者と協定した融通条件による。ただし、企業財政の都合により、据置期間を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えることができる。
資本費平準化債	96,300千円			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、200,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 事業費用及び資本的支出の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における款内各項の間の金額の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 90,140千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業の助成のため他会計からこの会計へ補助を受ける金額は、213,078千円である。

令和4年2月24日提出

日高市長 谷ヶ崎 照 雄

予算に関する説明書
 令和4年度日高市下水道事業会計予算実施計画
 収益的収入及び支出

収 入					
款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 下水道事業収益	1 営業収益		1,142,751	千円	
			743,898		
		1 使用料	710,000	・下水道使用料 710,000	
		2 雨水処理負担金	29,718	・一般会計負担金 29,718	
		3 その他営業収益	4,180	・手数料 1	
				・雑収益 4,179	
	2 営業外収益			398,853	
		1 受取利息及び配当金	1	・預金利息 1	
		2 他会計補助金	167,438	・一般会計補助金 167,438	
		3 長期前受金戻入	231,413	・受贈財産評価額長期前受金戻入 53,210	
			106,795	・国庫補助金長期前受金戻入 1,400	
			・県補助金長期前受金戻入 46,512		
			・負担金長期前受金戻入 20,247		
			・その他長期前受金戻入 3,249		
	4 雑収益	1	・雑収益 1		
2 農業集落排水事業収益	1 営業収益		47,471		
			6,452		
		1 使用料	6,450	・農業集落排水施設使用料 6,450	
		2 その他営業収益	2	・手数料 1	
				・雑収益 1	
2 営業外収益			41,019		
	1 他会計補助金	28,180	・一般会計補助金 28,180		

		2 長期前受金戻入	12,839	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金長期前受金戻入 7,739 ・県補助金長期前受金戻入 3,829 ・他会計補助金長期前受金戻入 182 ・分担金長期前受金戻入 1,088 ・その他長期前受金戻入 1
合 計			1,190,222	

支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
1 下水道事業費用			980,549	千円
	1 営業費用		870,709	
		1 管渠費	42,354	<ul style="list-style-type: none"> ・給料 2,679 (職員1人) ・手当 1,433 ・賞与引当金繰入額 354 ・法定福利費 779 ・法定福利費引当金繰入額 76 ・備用品費 67 ・材料費 3,964 ・修繕費 21,500 ・委託料 11,017 ・保険料 92 ・貸借料 30 ・補償費 1 ・負担金 362
		2 ポンプ場費	33,219	<ul style="list-style-type: none"> ・備用品費 110 ・光熱水費 14 ・動力費 2,067 ・燃料費 28 ・修繕費 3,237 ・通信運搬費 218

3	處理場費	201,833	・委託料	27,545	
			・給料	10,725	(職員3人)
			・手当	6,238	
			・賞与引当金繰入額	1,557	
			・法定福利費	3,245	
			・法定福利費引当金繰入額	326	
			・備用品費	1,341	
			・光熱水費	59	
			・動力費	5,975	
			・燃料費	921	
			・修繕費	5,248	
			(別途修繕引当金取崩額	19,456)
			(別途基金取崩額	34,192)
			・手数料	13	
			・委託料	164,536	
(別途基金取崩額	21,435)			
4	普及促進費	6,284	・保険料	187	
			・貸借料	14	
			・負担金	1,448	
			・給料	3,042	(職員1人)
			・手当	1,388	
			・賞与引当金繰入額	398	
			・法定福利費	841	
			・法定福利費引当金繰入額	84	
			・備用品費	106	
			・通信運搬費	14	
5	業務費	45,257	・負担金	411	
			・給料	4,505	(職員1人)
			・手当	2,021	
			・賞与引当金繰入額	617	
			・法定福利費	1,294	
			・法定福利費引当金繰入額	129	
			・委託料	36,082	

		6	総係費	39,599	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金 609 ・給料 13,613 (職員 3人) ・手当 6,603 ・賞与引当金繰入額 1,993 ・報酬 483 ・法定福利費 3,930 ・法定福利費引当金繰入額 410 ・旅費 50 ・備用品費 838 ・被服費 25 ・燃料費 276 ・印刷製本費 47 ・修繕費 332 ・通信運搬費 48 ・手数料 142 ・委託料 832 ・保険料 156 ・貸借料 1,555 ・補償費 1 ・研修費 83 ・報償費 75 ・負担金 7,826 ・公課費 45 ・貸倒引当金繰入額 236 ・有形固定資産減価償却費 502,163
		7	減価償却費	502,163	
2	営業外費用			103,222	
		1	支払利息及び企業債取扱諸費	66,222	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債利息 (公共) 64,617 ・企業債利息 (特環) 30 ・企業債利息 (中沢) 722 ・企業債利息 (高麗処理分区) 852

		2 消費税及び地方消費税	37,000	<ul style="list-style-type: none"> ・一時借入金利息 1 ・消費税及び地方消費税 37,000
	3 特別損失		118	
		1 過年度損益修正損	118	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度損益修正損 100 ・貸倒れに係る消費税 18
	4 予備費		6,500	
		1 予備費	6,500	<ul style="list-style-type: none"> ・予備費 6,500
2 農業集落排水事業費用	1 営業費用		47,471	
			45,053	
		1 管渠費	3,529	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 2,250 ・委託料 1,268 ・保険料 3 ・負担金 8
		2 処理場費	23,746	<ul style="list-style-type: none"> ・給料 4,116 (職員 1 人) ・手当 1,692 ・賞与引当金繰入額 594 ・法定福利費 1,137 ・法定福利費引当金繰入額 125 ・備用品費 152 ・燃料費 4 ・修繕費 750 ・手数料 32 ・委託料 14,579 ・保険料 9 ・負担金 556
		3 減価償却費	17,778	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産減価償却費 17,778
	2 営業外費用		918	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	918	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債利息 (農集) 918

	3 予備費		1,500	
		1 予備費	1,500	・予備費 1,500
	合 計		1,028,020	

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
1 下水道事業資本的収入	1 企業債		249,886	千円
			224,200	
	1 建設改良費等企業債	224,200	・公共下水道事業債 127,900 ・資本費平準化債 96,300	
	2 分担金及び負担金		8,200	
		1 受益者負担金	500	・受益者負担金 500
	2 その他負担金	7,700	・その他負担金 7,700	
	3 他会計補助金	17,460		
1 他会計補助金	17,460	・一般会計補助金 17,460		
4 基金収入		26		
	1 基金収入	26	・高麗処理分区基金利子 26	
2 農業集落排水事業資本的収入	1 分担金及び負担金		1	
		1 受益者分担金	1	・受益者分担金 1
合 計			249,887	

支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考
1 下水道事業資本 的支出	1 建設改良費	1 建設総務費	685,006	千円
			150,368	
			14,895	・給料 7,864 (職員2人)
				・手当 3,496
				・法定福利費 2,353
		2 管渠整備費		120
			101,539	・備消品費
				・負担金 1,062
				・委託料 7,962
				・補償費 3,000
	2 企業債償還金	5 固定資産購入費	3,340	・汚水管工事請負費 90,577
			28,340	・ポンプ場工事請負費 3,340
			2,254	・委託料 19,613
			534,612	・処理場工事請負費 8,727
			534,612	・固定資産購入費 2,254
	3 投資	1 基金利子積立金	26	・企業債償還金 (公共) 510,557
			26	・企業債償還金 (特環) 887
2 農業集落排水事 業資本の支出	1 企業債償還金	1 企業債償還金	6,594	・企業債償還金 (中沢) 3,056
			6,594	・企業債償還金 (高麗処理分 区) 20,112
合 計			691,600	・高麗処理分区基金積立金 26
		1 企業債償還金	6,594	・企業債償還金 (農集) 6,594

令和4年度日高市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益 (△は純損失)	169,766,256
	減価償却費	519,941,000
	賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,000
	法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 776,000
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	32,000
	修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 19,456,000
	長期前受金戻入額	△ 244,252,000
	受取利息及び配当金	△ 1,000
	支払利息及び企業債取扱諸費	67,140,000
	小計	<u>492,439,256</u>
	利息及び配当金の受取額	1,000
	利息の支払額	<u>△ 67,140,000</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>425,300,256</u>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 138,293,637
	基金への積立てによる支出	△ 26,000
	基金の運用による収入	55,653,000
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	16,591,235
	負担金等による収入	7,454,633
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 58,620,769</u>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	382,300,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 541,206,000</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 158,906,000</u>
	資金増加額 (又は減少額)	207,773,487
	資金期首残高	253,448,415
	資金期末残高	<u>461,221,902</u>

給 与 費 明 細 書

1 総括

区 分	職 員 数		給 与 費				法定福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)		
本 年 度	12	() 12	483	46,544	28,384	75,411	14,729	90,140
前 年 度	12	() 12	290	50,206	31,648	82,144	15,103	97,247
比 較	0	() 0	193	△ 3,662	△ 3,264	△ 6,733	△ 374	△ 7,107

() 内は、短時間勤務職員で外書き

手 当 の 内 訳	区 分	管 理 職 手 当 (千円)	扶 養 手 当 (千円)	地 域 手 当 (千円)	住 居 手 当 (千円)	通 勤 手 当 (千円)	特殊勤務 手 当 (千円)	時間外勤務 手 当 (千円)	期 末 手 当 (千円)	勤 勉 手 当 (千円)
	本 年 度	1,886	2,088	1,519	642	1,431	77	2,007	10,359	8,375
	前 年 度	1,886	1,908	1,624	948	1,443	114	2,393	12,008	9,324
	比 較	0	180	△ 105	△ 306	△ 12	△ 37	△ 386	△ 1,649	△ 949

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説 明	備 考
給 料	△ 3,662	給与改定に伴う増減分	0	給与改定の状況 給料の改定率 0%
		昇給に伴う増加分	619	平均昇給率 1.33% 昇給期 4月
		その他の増減分	△4,281	職員の異動状況 本年度 (予定) 12人 前年度 12人 増 減 0人

手 当	△ 3,264	制度改正に伴う増減分	△647	期末手当	△ 647 千円
		その他の増減分	△2,617	扶養手当	180 千円
				地域手当	△ 105
				住居手当	△ 306
				通勤手当	△ 12
				特殊勤務手当	△ 37
				時間外勤務手当	△ 386
				期末手当	△ 1,002
				勤勉手当	△ 949

3 給料及び手当の状況

(1) 職員 1 人当たり給与

区 分		一 般 行 政 職
令和 4 年 1 月 1 日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	319,000
	平 均 給 与 月 額 (円)	393,968
	平 均 年 齢 (歳)	44.2
令和 3 年 1 月 1 日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	354,009
	平 均 給 与 月 額 (円)	428,844
	平 均 年 齢 (歳)	48.3

(2) 初任給

区 分	一 般 行 政 職 (円)	国 の 制 度
		行 政 職 (一) (円)
高 校 卒	160,100	150,600
短 大 卒	171,700	160,100
大 学 卒	188,700	182,200

(3) 級別職員数

区 分	一 般 行 政 職		
	級	職 員 数 (人)	構 成 比 (%)
令和4年1月1日現在	1級	()	()
	2級	(2)	16.7
	3級	(2)	16.7
	4級	(4)	33.3
	5級	(3)	25.0
	6級	(1)	8.3
	7級	()	()
	計	(12)	100.0
令和3年1月1日現在	1級	()	()
	2級	()	()
	3級	(4)	36.3
	4級	(3)	27.3
	5級	(3)	27.3
	6級	(1)	9.1
	7級	()	()
	計	(11)	100.0

() 内は、短時間勤務職員で外書き

(級別の基準となる職務)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
一 般 行 政 職	主事補	主事	主任	主査	主幹	課長	部長

(4) 昇給

		区 分	合 計	一 般 行 政 職	
本 年 度	職 員 数		(A) (人)	12	12
	昇給に係る職員数		(B) (人)	11	11
	号 給 数 別 内 訳	1号給	(人)		
		2号給	(人)	3	3
		3号給	(人)		
		4号給	(人)	8	8
		5号給	(人)		
		6号給	(人)		
		7号給	(人)		
	8号給	(人)			
比 率		(B) / (A) (%)	91.7	91.7	
前 年 度	職 員 数		(A) (人)	12	12
	昇給に係る職員数		(B) (人)	12	12
	号 給 数 別 内 訳	1号給	(人)		
		2号給	(人)	4	4
		3号給	(人)		
		4号給	(人)	8	8
		5号給	(人)		
		6号給	(人)		
		7号給	(人)		
	8号給	(人)			
比 率		(B) / (A) (%)	100.0	100.0	

(5) 特殊勤務手当

区 分	一 般 行 政 職
給料総額に対する比率 (%)	0.17
支給対象職員の比率 (%) (令和4年1月1日現在)	100.00
支給対象職員1人当たり平均支給月額 (円)	535
代表的な特殊勤務手当の名称	下水処理業務手当 電気主任技術者手当

(6) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	(1.125)	(1.125)	(2.25)	有	
	2.150	2.150	4.30		
前 年 度	(1.175)	(1.175)	(2.35)	有	
	2.225	2.225	4.45		
国の制度	(1.175)	(1.175)	(2.35)	有	
	2.225	2.225	4.45		

() 内は、再任用職員に係る支給率

(7) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最高限度 (月分)	その他の加算 措 置 等	備 考
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)	
国の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)	

(8) その他の手当

区分	国の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同じ	
地域手当	同じ	
住居手当	同じ	
通勤手当	同じ	

債務負担行為に関する調書

事項	限度額	前年度末までの支払義務発生(見込)額		当該年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳
		期間	金額	期間	金額	営業収益
日高市水洗便所改造資金融資あっせん規則による損失補償	千円 回収されない元金及び納付すべき利子の合計額	-	千円 -	令和4年度以降	千円 限度額に同じ	千円 支払義務発生予定額に同じ

令和4年度日高市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）
（令和5年3月31日）

（単位 円）

		資産の部		
1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		1,497,861,500	
ロ	建物	1,921,348,908		
	減価償却累計額	<u>△ 1,093,311,051</u>	828,037,857	
ハ	構築物	21,643,992,255		
	減価償却累計額	<u>△ 9,233,853,824</u>	12,410,138,431	
ニ	機械及び装置	5,779,195,700		
	減価償却累計額	<u>△ 4,244,984,752</u>	1,534,210,948	
ホ	車両運搬具	4,442,517		
	減価償却累計額	<u>△ 3,595,725</u>	846,792	
ヘ	工具、器具及び備品	28,811,429		
	減価償却累計額	<u>△ 28,116,063</u>	695,366	
ト	建設仮勘定		<u>39,276,727</u>	
	有形固定資産合計			16,311,067,621
(2)	投資その他の資産			
イ	基金		<u>8,336,815</u>	
	投資その他の資産合計			<u>8,336,815</u>
	固定資産合計			16,319,404,436
2	流動資産			
(1)	現金・預金			461,221,902
(2)	未収金		143,676,484	
	貸倒引当金	<u>△ 132,130</u>		
	流動資産合計		<u>143,544,354</u>	
	資産合計			<u>604,766,256</u>
				<u>16,924,170,692</u>

負債の部

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,030,391,404		
	企業債合計		5,030,391,404	
	(2) 引当金			
	イ 修繕引当金	1,082		
	引当金合計		1,082	
	固定負債合計			5,030,392,486
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,677,263		
	企業債合計		494,677,263	
	(2) 未払金		209,624,397	
	(3) 引当金			
	イ 賞与引当金	6,194,000		
	ロ 法定福利費引当金	1,577,000		
	引当金合計		7,771,000	
	(4) その他流動負債		66,050,000	
	流動負債合計			778,122,660
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金			
	イ 受贈財産評価額	1,590,313,604		
	ロ 国庫補助金	7,796,265,860		
	ハ 県補助金	246,694,772		
	ニ 他会計補助金	2,837,225,743		
	ホ 分担金及び負担金	1,505,878,813		
	ヘ その他	187,483,743		
	ト 建設仮勘定	1,090,910		
	長期前受金合計		14,164,953,445	

(2) 長期前受金収益化累計額			
イ 受贈財産評価額	△ 679,455,847		
ロ 国庫補助金	△ 4,608,306,781		
ハ 県補助金	△ 116,605,300		
ニ 他会計補助金	△ 1,696,824,984		
ホ 分担金及び負担金	△ 892,066,388		
ヘ その他	△ 80,128,807		
長期前受金収益化累計額合計		<u>△ 8,073,388,107</u>	
繰延収益合計			<u>6,091,565,338</u>
負債合計			<u><u>11,900,080,484</u></u>
	資本の部		
6 資本金			3,500,830,870
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	375,418,974		
ロ 国庫補助金	706,961,000		
ハ 県補助金	17,707,500		
ニ その他	63,963,425		
資本剰余金合計		<u>1,164,050,899</u>	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	185,871,270		
ロ 当年度未処分利益剰余金	173,337,169		
利益剰余金合計		<u>359,208,439</u>	
剰余金合計			<u>1,523,259,338</u>
資本合計			<u>5,024,090,208</u>
負債資本合計			<u><u>16,924,170,692</u></u>

(注) 引当金については、修繕引当金19,456,000円を取り崩しました。

(注) 基金55,627,000円を取り崩しました。

注記

I 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

イ 減価償却の方法

(イ) 償却資産 定額法

ロ 主な耐用年数

(イ) 建物	20～50年
(ロ) 構築物	30～50年
(ハ) 機械及び装置	10～20年
(ニ) 車両運搬具	4～6年
(ホ) 工具、器具及び備品	5～20年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

退職手当負担金のうち、特別負担金及び積立金の不足等に応じて発生する追加的な費用負担（収支差額の調整のために支払う負担金、組合脱退時の精算金等を含む）は全て一般会計が負担し、将来公営企業には新たな費用が発生しないこととなるため、退職給付引当金を計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における手当支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(4) 修繕引当金

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

(5) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

II 予定貸借対照表等関連

1 修繕引当金の勘定科目

修繕引当金については、企業会計の取扱い上、引当金全額を固定負債に計上することが通例であることから、同様の取扱いとしている。

III セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

日高市下水道事業は、下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、それぞれ運営方針等を決定していることから当該2事業を報告セグメントとしている。

なお、報告セグメントに属する事業の内容は、以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
下水道事業	市街地等におけるし尿・生活雑排水の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落におけるし尿・生活雑排水の処理

2 報告セグメントの営業収益等

当年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位 千円）

項目	下水道事業	農業集落排水事業	合計
営業収益	678,994	5,866	684,860
営業費用	844,414	43,321	887,735
営業損益	△ 165,420	△ 37,455	△ 202,875
経常損益	167,211	2,646	169,857
セグメント資産	16,362,456	561,715	16,924,171
セグメント負債	11,550,320	349,760	11,900,080
その他の項目			
他会計繰入金	197,156	28,180	225,336
減価償却費	502,163	17,778	519,941
長期前受金戻入	231,413	12,839	244,252
受取利息及び配当金	1	0	1
支払利息及び企業債取扱諸費	66,222	918	67,140
特別損失	91	0	91
有形固定資産の増減額	△ 363,869	△ 17,778	△ 381,647

IV リース契約により使用する固定資産

1 リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

V その他

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

当年度6月に職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金5,468千円を取り崩している。

(2) 法定福利費引当金

当年度6月に職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、法定福利費引当金1,644千円を取り崩している。

(3) 修繕引当金

当年度における修繕費として使用するため、修繕引当金19,456千円を取り崩している。

(4) 貸倒引当金

当年度における債権の不納欠損による損失として、貸倒引当金204千円を取り崩している。

令和3年度日高市下水道事業予定損益計算書（前年度分）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

（単位 円）

1 営業収益			
(1) 使用料	656,285,455		
(2) 雨水処理負担金	26,988,000		
(3) その他営業収益	3,428,002	686,701,457	
2 営業費用			
(1) 管渠費	58,828,007		
(2) ポンプ場費	21,919,094		
(3) 処理場費	292,861,013		
(4) 普及促進費	6,425,455		
(5) 業務費	33,906,092		
(6) 総係費	39,067,429		
(7) 減価償却費	523,583,000		
(8) 資産減耗費	17,171,000	993,761,090	
営業損失			307,059,633
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	1,000		
(2) 他会計補助金	128,230,000		
(3) 長期前受金戻入	249,361,000		
(4) 雑収益	1,820	377,593,820	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	71,823,000	71,823,000	305,770,820
經常損失			△ 1,288,813
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	109,092	109,092	△ 109,092
当年度純損失			△ 1,397,905
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			46,937,194
当年度未処分利益剰余金			45,539,289

令和3年度日高市下水道事業予定貸借対照表（前年度分）
（令和4年3月31日）

（単位 円）

		資産の部		
1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
	イ 土地		1,497,861,500	
	ロ 建物	1,921,348,908		
	減価償却累計額	<u>△ 1,052,026,051</u>	869,322,857	
	ハ 構築物	21,543,696,890		
	減価償却累計額	<u>△ 8,820,525,824</u>	12,723,171,066	
	ニ 機械及び装置	5,748,346,610		
	減価償却累計額	<u>△ 4,180,137,752</u>	1,568,208,858	
	ホ 車両運搬具	4,442,517		
	減価償却累計額	<u>△ 3,224,725</u>	1,217,792	
	ヘ 工具、器具及び備品	28,811,429		
	減価償却累計額	<u>△ 28,006,063</u>	805,366	
	ト 建設仮勘定		32,127,545	
	有形固定資産合計		<u>16,692,714,984</u>	
(2)	投資その他の資産			
	イ 基金		63,937,815	
	投資その他の資産合計		<u>63,937,815</u>	
	固定資産合計			<u>16,756,652,799</u>
2	流動資産			
(1)	現金・預金		253,448,415	
(2)	未収金		143,676,484	
	貸倒引当金		<u>△ 100,130</u>	
	流動資産合計		<u>397,024,769</u>	
	資産合計			<u><u>17,153,677,568</u></u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充 てるための企業債	5,142,771,613		
企業債合計		5,142,771,613	
(2) 引当金			
イ 修繕引当金	19,457,082		
引当金合計		19,457,082	
固定負債合計			5,162,228,695
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充 てるための企業債	541,203,054		
企業債合計		541,203,054	
(2) 未払金		209,624,397	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	6,149,000		
ロ 法定福利費引当金	2,353,000		
引当金合計		8,502,000	
(4) その他流動負債		66,050,000	
流動負債合計			825,379,451
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 受贈財産評価額	1,590,313,604		
ロ 国庫補助金	7,796,265,860		
ハ 県補助金	246,694,772		
ニ 他会計補助金	2,820,634,508		
ホ 分担金及び負担金	1,498,424,180		
ヘ その他	187,483,743		
ト 建設仮勘定	1,090,910		
長期前受金合計		14,140,907,577	

(2) 長期前受金収益化累計額

イ 受贈財産評価額	△ 626, 245, 847		
ロ 国庫補助金	△ 4, 493, 772, 781		
ハ 県補助金	△ 111, 376, 300		
ニ 他会計補助金	△ 1, 650, 130, 984		
ホ 分担金及び負担金	△ 870, 731, 388		
ヘ その他	△ 76, 878, 807		
長期前受金収益化累計額合計		<u>△ 7, 829, 136, 107</u>	
繰延収益合計			<u>6, 311, 771, 470</u>
負債合計			<u><u>12, 299, 379, 616</u></u>

資本の部

6 資本金			3, 458, 862, 494
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	375, 418, 974		
ロ 国庫補助金	706, 961, 000		
ハ 県補助金	17, 707, 500		
ニ その他	63, 937, 425		
資本剰余金合計		<u>1, 164, 024, 899</u>	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	185, 871, 270		
ロ 当年度未処分利益剰余金	45, 539, 289		
利益剰余金合計		<u>231, 410, 559</u>	
剰余金合計			<u>1, 395, 435, 458</u>
資本合計			<u>4, 854, 297, 952</u>
負債資本合計			<u><u>17, 153, 677, 568</u></u>

注記

I 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

イ 減価償却の方法

(イ) 償却資産 定額法

ロ 主な耐用年数

(イ) 建物 20～50年

(ロ) 構築物 30～50年

(ハ) 機械及び装置 10～20年

(ニ) 車両運搬具 4～6年

(ホ) 工具、器具及び備品 5～20年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

退職手当負担金のうち、特別負担金及び積立金の不足等に応じて発生する追加的な費用負担（収支差額の調整のために支払う負担金、組合脱退時の精算金等を含む）は全て一般会計が負担し、将来公営企業には新たな費用が発生しないこととなるため、退職給付引当金を計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における手当支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(4) 修繕引当金

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

(5) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

II 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものを含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は9,614,000円である。

2 修繕引当金の勘定科目

修繕引当金については、企業会計の取扱い上、引当金全額を固定負債に計上することが通例であることから、同様の取扱いとしている。

III セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

日高市下水道事業は、下水道事業、農業集落排水事業及びコミュニティ・プラント事業を運営しており、それぞれ運営方針等を決定していることから、当該3事業を報告セグメントとしている。

なお、報告セグメントに属する事業の内容は、以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
下水道事業	市街地等におけるし尿・生活雑排水の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落におけるし尿・生活雑排水の処理
コミュニティ・プラント事業	住宅団地等におけるし尿・生活雑排水の処理

2 報告セグメントの営業収益等

当年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位 千円）

項目	下水道事業	農業集落排水事業	コミュニティ・プラント事業	合計
営業収益	578,152	5,820	102,729	686,701
営業費用	815,124	43,976	134,661	993,761
営業損益	△ 236,972	△ 38,156	△ 31,932	△ 307,060
経常損益	△ 12,252	3,161	7,802	△ 1,289
セグメント資産	15,173,575	578,529	1,401,574	17,153,678
セグメント負債	11,133,885	369,221	796,274	12,299,380
その他の項目				
他会計繰入金	126,109	29,109	0	155,218
減価償却費	458,459	18,410	46,714	523,583
長期前受金戻入	195,451	13,250	40,660	249,361
受取利息及び配当金	1	0	0	1
支払利息及び企業債取扱諸費	69,854	1,042	927	71,823
特別損失	91	0	18	109
有形固定資産の増減額	746,533	△ 214,908	△ 46,714	484,911

IV リース契約により使用する固定資産

1 リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内（令和4年度） 257,580円（税込み）

1年超（令和5年度以降） 0円（税込み）

合計 257,580円（税込み）

V その他

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

当年度6月に職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金5,948千円を取り崩している。

(2) 法定福利費引当金

当年度6月に職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、法定福利費引当金1,820千円を取り崩している。

(3) 貸倒引当金

当年度における債権の不納欠損による損失として、貸倒引当金263千円を取り崩している。